

一般社団法人 日本精神保健看護学会
2022 年度第 1 回代議員会議事録

日時：2022 年 6 月 3 日（金）18:30～19:38

場所：議長所在地（山形県立保健医療大学 〒990-2212 山形県山形市上柳 260）

方法：WEB 会議システム

代議員総数：50 名

出席代議員：48 名（出席 41 名、委任状出席 7 名）

安保 寛明（理事長）

（以下、オンライン会議システムによる出席代議員）

畦地 博子、安保 寛明、石橋 照子、岩切 真砂子、岩瀬 貴子、上野 恭子、遠藤 淑美、大川 貴子、岡田 佳詠、荻野 雅、片岡 三佳、香月 富士日、萱間 真美、北岡 和代、小山 達也、澤田 いずみ、柴田 真紀、田井 雅子、寶田 穂、刃喜田 恵子、武井 麻子、田中 浩二、玉木 敦子、千葉 理恵、辻脇 邦彦、土田 幸子、寺岡 征太郎、永井 優子、野末 聖香、畠山 卓也、濱田 由紀、福田 紀子、藤野 成美、松枝 美智子、松下 年子、松田 光信、三木 明子、宮本 眞巳、宮本 有紀、八木 こずえ、山田 浩雅

出席理事：安保 寛明（理事長）

（以下、オンライン会議システムによる出席理事・監事）

畦地 博子、安保 寛明、遠藤 淑美、大川 貴子、大熊 恵子、岡田 佳詠、香月 富士日、萱間 真美（副理事長）、寺岡 征太郎、永井 優子、松下 年子、松田 光信、宮本 有紀、矢山 壮

出席監事：荻野 雅、刃喜田 恵子

その他出席者：船越明子第 33 回学術集会会長、南裕子名誉会員

議長：安保 寛明（理事長）

議事録作成者：安保 寛明（理事長）

配布資料：資料 1_2021 年度事業報告

資料 2_2022 年度事業計画

資料 3_2022 年度予算

資料 4_第 33 回・第 34 回学術集会会長の選出

資料 5_2021 年度決算報告書

資料 6_監査報告

1. 開会宣言

安保理事長より定款第 17 条に基づき、2022 年度第 1 回代議員会の開会の宣言がなされた。

2. 理事長挨拶

安保理事長よりご挨拶があった。

3. 出席人数の確認と会議成立宣言

安保理事長より、18:33 時点での代議員出席者 45 名（出席 38 名、委任状 7 通）があり、定款第 21 条に基づき、定足数を満たす出席があり本代議員会が適法に成立していることが宣言された。なお、議事に先立ち、本代議員会は WEB 会議システムを用いて開催することを宣言し、WEB 会議システムによる出席者の音声即時に他の出席者に伝達され、出席者が一堂に会するのと同様に適時適確な意思表示が相互にできる状態になっていることを確認した。

4. 議長確認・議事録署名人の承認

議長は、定款第 19 条の規定により、安保理事長が務めることが確認された。次いで、安保理事長より、定款第 24 条、定款施行細則第 7 条に基づき、議事録署名人として三木明子代議員、田中浩二代議員が推薦され、会場からの拍手により承認された。

5. 第 32 回学術集會会長挨拶

荻野雅第 32 回学術集會会長よりご挨拶があった。

6. 報告事項

1) 2021 年度 事業報告（資料 1）

(1) 理事会活動報告

安保理事長より理事会活動報告がなされた。

(2) 各委員会活動報告

① 学術集會企画委員会

萱間副理事長より活動内容の報告がなされた。

② 編集委員会

畦地委員長より活動内容の報告がなされた。

③ 研究活動推進委員会

遠藤委員長より活動内容の報告がなされた。

④ 教育の質向上委員会

松田委員長より活動内容の報告がなされた。

⑤ 実践の質向上委員会

岡田委員長より活動内容の報告がなされた。

⑥ 学術連携委員会

松下委員長より活動内容の報告がなされた。

⑦ 社会貢献委員会

香月委員長より活動内容の報告がなされた。

⑧ 広報・情報委員会

寺岡委員長より活動内容の報告がなされた。

⑨ 災害対策委員会

大川委員長より活動内容の報告がなされた。

⑩ 倫理・利益相反委員会

永井委員長より活動内容の報告がなされた。

⑪ 総務委員会

大熊総務委員長より活動内容の報告がなされた。

(3) 学会員の動向

大熊総務委員長より学会員の動向について報告がなされた。

(4) 質疑応答

質問：神出病院の件は、学会として声明を出す予定か、もしくは既に発表しているか。(南名誉会員)

回答：学会として、声明を出したいと考えてはいるが、まだ発表するまでには至っていない。(安保理事長)

2) 2022 年度 事業計画 (資料 2)

安保理事長より 2022 年度事業計画について報告がなされた。

3) 2022 年度 予算 (資料 3)

宮本会計担当理事より 2022 年度予算について報告がなされた。

4) 日本精神保健看護学会第 33 回および第 34 回学術集会会長の選出結果 (資料 4)

安保理事長より第 33 回学術集会会長として船越明子会員 (神戸市看護大学) を、第 34 回学術集会会長として岡田佳詠会員 (国際医療福祉大学) をそれぞれ理事会で選出した旨、報告がなされた。

7. 審議事項

・第 1 号議案 2021 年度 決算報告書 (資料 5)

宮本会計担当理事より、2021 年度決算として貸借対照表、正味財産増減計算書、予算対比正味財産増減計算書、財産目録、財務諸表に対する注記について説明がなされた。

→会場からの質疑は特になく、挙手多数にて 1/2 以上の賛成を認め、定款第 21 条に基づき承認された。

・第 2 号議案 2021 年度 監査報告 (資料 6)

尋喜田監事より 2021 年度監査報告がなされた。

→会場からの質疑は特になく、挙手多数にて 1/2 以上の賛成を認め、定款第 21 条に基づき承認された。

8. 第 33 回学術集会会長挨拶

船越明子第 33 回学術集会会長よりご挨拶があった。

9. 出席名誉会員の挨拶

南裕子出席名誉会員よりご挨拶があった。

10. 閉会宣言

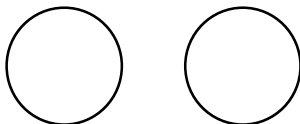
安保理事長より以上を以ってWEB会議システムを利用した本代議員会は通信が切断されることもなく、終始異常なく、本日の議事が終了したため、閉会宣言がなされた。

上記の議決を明確にするため、本議事録を作成し、定款第24条に基づき、議長及び議事録署名人が次に署名押印する。

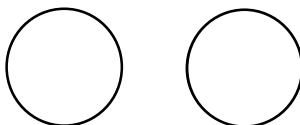
※当法人定款規定に基づき、本議事録において、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員を「代議員」、社員総会を「代議員会」、代表理事を「理事長」と表記するものとする。

2022年6月3日 一般社団法人 日本精神保健看護学会 代議員会

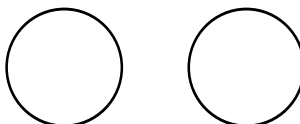
議長 安保寛明
(議事録作成者)



議事録署名人 三木明子



議事録署名人 田中浩二



一般社団法人 日本精神保健看護学会

2022 年度 第 1 回 代議員会

(資料)

目次

2021 年度 事業報告（資料 1）	1
2022 年度 事業計画（資料 2）	6
2022 年度 予算（資料 3）	9
日本精神保健看護学会第 33 回及び第 34 回学術集会会長の選出結果 （資料 4）	10
第 1 号議案 2021 年度 決算報告書（資料 5）	11
第 2 号議案 2021 年度 監査報告（資料 6）	18

定款および諸規程は、学会ホームページ
(<https://www.japmhn.jp/about/byelaw>) をご覧ください。

2021年度 事業報告(案)

2021年度の事業報告は、2021年4月1日～2022年3月31日の活動内容とする。

1. 理事会・代議員会・定時学会総会の開催(総務委員会)

2021年4月から2022年3月まで、以下の日程で6回の理事会と2回の代議員会を開催し、学術集会の企画、各委員会活動、入会審査、今後の学会活動等についての検討を行った。また、6月のオンラインでの学術集会後に定時学会総会を開催し、本会運営上の重要事項について正会員と共有するとともに、理事会に対する意見を募った。

1) 理事会の開催

[第1回理事会]

日時:2021年5月8日(土)13時～15時

場所:WEB会議

[第2回理事会]

日時:2021年6月4日(金)18時～19時

場所:WEB会議

[第3回理事会]

日時:2021年7月19日(月)18時～19時

場所:WEB会議

[第4回理事会]

日時:2021年10月2日(土)13時～15時

場所:WEB会議

[第5回理事会]

日時:2022年1月8日(土)13時～16時

場所:WEB会議

[第6回理事会]

日時:2022年3月17日(木)17時30分～20時

場所:WEB会議

2) 代議員会の開催(総務委員会)

[第1回代議員会]

日時:2021年6月4日(金)17時～18時

場所:WEB会議

[第2回代議員会]

日時:2021年6月4日(金)19時～20時

場所:WEB会議

3) 定時学会総会の開催(総務委員会)

日時:2021年6月5日(土)

場所:WEB会議

2. 学術集会の企画(学術集会企画委員会)

1) 第31回日本精神保健看護学会学術集会・総会の開催

テーマ:「精神保健の時代を開く共創造」

期間:2021年6月5日(土)・6日(日)

場所:オンライン開催(ライブ配信、オンデマンド配信)

学術集会会長:安保 寛明(山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科 教授)

合計 989名

参加登録数:会員 531名 非会員 218名 学生(大学院生を除く)75名 当事者・家族 20名

市民公開講座 145名

2) 第31回日本精神保健看護学会学術集会・総会 理事会企画の開催

(1) 学会シンポジウム

テーマ:「新型コロナウイルス流行期における障害福祉サービスに従事する人のための心理社会的
支援厚生労働委託事業から学んだこと」

日 時: 2021年6月5日(土)13:30-14:50

場 所: ライブ配信

座 長: 萱間 真美

演 者: 武用 百子、安保 寛明、岡田 佳詠、宇佐美しおり

(2)学会 30周年記念企画

テーマ:「精神看護を語る ―精神看護の未来を見据えて―」

日 時: 2021年6月6日(日)15:30-16:30

場 所: ライブ配信・オンデマンド配信

座 長: 萱間 真美

対 談: 阿保 順子、寺岡 征太郎

3)第 32 回日本精神保健看護学会学術集会・総会の開催準備

テーマ:「精神保健における精神看護の責務―With コロナの中でのチャレンジ―」

期 間: 2022年6月4日(土)・5日(日)

場 所: オンライン開催(ライブ配信・オンデマンド配信)

学術集会会長: 荻野 雅(武蔵野大学看護学部看護学科 教授)

4)第 32 回日本精神保健看護学会学術集会・総会 理事会企画の開催準備

(1)理事会企画

テーマ:「生きるを支えるために精神保健看護学ができること」

日 時: 2022年6月5日(日)13:50~15:20(予定)

場 所: オンライン開催

演 者: 安保 寛明、萱間 真美、宮本 有紀、厚生労働省(交渉中)

5)第 33 回日本精神保健看護学会学術集会・総会の開催準備

学術集会会長: 船越 明子(神戸市看護大学 教授)

テーマ:「精神保健看護がめざす多様性と包摂性」

日 時: 2023年5月13日(土)・14日(日)

場 所: 神戸国際会議場 オンラインでのハイブリット開催(予定)

3. 学会誌の編集・発行(編集委員会)

- 1)学会誌第 30 巻 1 号、2 号発刊
- 2)学会誌第 31 巻 1 号の発刊準備
- 3)編集委員会・査読委員の依頼・委嘱
- 4)投稿・査読に関するシステムの見直し

4. 研究助成活動(研究活動推進委員会)

- 1) 第 12 回 (2021 年度) 研究助成の運営, 及び助成対象者への支援
- 2) 第 13 回 (2022 年度) 研究助成の募集、審査、結果通知等の運営、実施
応募件数 4 件に対する審査 (決定 2 件)、結果通知等の運営
 - ①研究課題名: 日本語版 RSA-R の信頼性と妥当性の検証
研究代表者: 鈴木龍生
共同研究者: 宮本翔平
研究助成額: 300,000
 - ②研究課題名: 若年性認知症者の居場所獲得支援プロセス
研究代表者: 小原 良之
共同研究者: 片山典子
研究助成額: 300,000
- 3) これまでの助成対象研究のうち, 未投稿である研究の学会発表、論文投稿の推進
- 4) 研究に関する表彰制度の検討
- 5) 研究活動推進委員会の開催
第 1 回会議: 2021 年 9 月 1 日

第2回会議：2022年2月11日

第3回会議：2022年2月22日

5. 教育の質向上事業(教育の質向上委員会)

1) 教育の質向上委員会の開催

第1回委員会:2021年8月20日(金)10:00~11:00(ZOOMによる遠隔会議)

第2回委員会:2021年10月19日(火)10:00~11:00(ZOOMによる遠隔会議)

第3回委員会:2021年11月16日(火)10:00~12:05(ZOOMによる遠隔会議)

第4回委員会:2022年2月15日(火)10:00~10:40(ZOOMによる遠隔会議)

その他:適宜メール会議

2) 精神医療機関における新人・中途採用看護職員の研修に関する実態調査の検討

3) 教育の質向上に向けた今後の活動内容の検討

6. 実践の質向上事業(実践の質向上委員会)

1) 研修会の開催

①「精神科看護の基本の『き』のおさらい患者さんとのコミュニケーションを心配する新人ナー へ！」研修会

講師:菊池美智子・則包和也・松田優二・森内加奈恵・天野敏江

日時:2021年11月28日(日)13~16時

形式:Zoomによるオンライン研修

参加人数:19名

②日本認知療法・認知行動療法学会共催セミナー「認知療法・認知行動療法研修会」

講師:大野裕・藤澤大介・佐渡充洋(日本認知療法認知行動療法学会)、岡田佳詠・吉永
尚紀・北野進(日本精神保健看護学会)

形式:2022年3月26日(土)・27日(日)

場所:Zoomによるオンライン研修

参加予定人数:80名

③中堅看護師対象の実践力向上のためのオンライン研修会 エクササイズ!ケアとしての対 話! —オープンダイアログの治療的対話実践—

講師:藤原雅司

日時:2021年5月14日(土) 13:00~16:00

形式:Zoomによるオンライン研修

参加予定人数:30名

2) 実践の質を向上させていくための方略の検討

実践の質向上と方略に関する国内外の文献レビューを実施

7. 政策・学術連携に関する活動(学術連携委員会)

1) 診療報酬の要望書の結果を受けての再検討「精神科病院における(認定・専門看護師による) 看護外来支援・指導料」は、2次評価まで進まなかったため、再検討中。

2) 診療報酬の評価に向けた日本糖尿病教育・看護学会等との連携事業「精神疾患を併せもつ糖 尿病患者に対するハイリスク糖尿病連携指導料」の診療報酬要望書を提出したが、2次評価ま で進まなかったため、再検討中。

3) 看護系学会等社会保険連合(看保連)への参加

第13回情報交換会(令和3年10月22日)に参加、看保連は令和4年3月1日に開催予定。

4) 精神保健従事者団体懇談会への参加

令和3年9月、11月、令和4年1月、3月に開催

5) 学術連携委員会の開催

令和3年9月14日、令和3年12月15日、令和3年2月15日に開催

6) 政策提言に向けた他学会及び団体との今後の連携の検討

・日本看護協会との連携を図った。

・新規連携事業として日本小児虐待防止学会等との連携を検討中(子育て支援を含む)。

8. 広報活動(広報・情報委員会)

- 1) ニュースレター発行
 - (1) ニュースレターの発行(第90号、91号、92号)
- 2) インターネットによる広報活動
 - (1) 学会ホームページの更新
 - (2) Facebook(フォロワー数 660 人), Twitter(フォロワー数 420 人)による広報活動
(人数は2022年3月1日時点)
- 3) 広報・情報委員会の開催 オンライン会議(2021年8月6日) その他、適宜メールで意見交換
- 4) その他
 - (1) ニュースレターや SNS の活用状況に関する調査の準備
 - (2) 過去に実施された学術集会での講演内容録音物のアーカイブ化に関する検討

9. 社会貢献活動(社会貢献委員会)

- 1) 精神保健看護学の社会還元
 - ・『保健師ジャーナル』特別記事「COVID-19 対応や災害支援時における PFA に基づくセルフケアと相互支援」 2022 年 4 月号, Vol 78(2), 142-148 ページ, 掲載
 - ・市民向け web セミナーの実施に向けた検討
(委員会の開催時 2021 年 9 月 3 日、12 月 3 日、2022 年 1 月 6 日、1 月 26 日、2 月 24 日)
- 2) 医療事故調査への協力(2021 年度の医療事故調査機構への調査協力はなかった)
- 3) 精神保健看護学の知識によって社会貢献する活動の整理

10. 災害対策活動(災害対策委員会)

- 1) 災害対策委員会の開催
(WEB 会議 3 回 2021 年 10 月 7 日, 2021 年 12 月 12 日, 2021 年 2 月 27 日)
- 2) 意見交換会の開催
テーマ: 災害に備えてのネットワークづくり～COVID-19 感染下での施設を超えた支援を考える～
日時: 2022 年 2 月 27 日(日) 13 時～15 時
方法: ZOOM
参加人数: 参加者: 54 名(含: 災害対策委員 10 名 *46 都道府県より参加)

11. 倫理・利益相反に関する事業(倫理・利益相反委員会)

- 1) 利益相反指針の策定
看護系学会協議会の策定したガイドラインと、前年度検討したガイドラインを照合して、本学会の利益 相反指針、利益相反指針細則を検討した。
- 2) 研究倫理審査委員会規定の策定
本会は教育研究機関に所属する会員が多く、研究倫理審査の申請のニーズは比較的少ないもの考え、「研究倫理審査委員会」に先立ち「倫理・利益相反委員会」に関する規定を検討することとした。
- 3) 学会における倫理的問題の検討、審査
会員に関する倫理的問題以外について、本委員会で検討するとは現実的に困難であることを確認した。
なお、「神出病院における患者虐待事件」にかかる事後情報を収集し、精神保健従事者懇談会の拡大学習会にも参加した。第三者委員会の報告書が令和 3 年度末までに提出されるため、その結果を踏まえてする予定である。
- 4) 利益相反に関する検討、審査
- 5) 研究倫理審査
現在、研究倫理審査に関する会員への周知をしていない。研究倫理に関する申請や問い合わせ等もなかった。

12. 総務・会計(総務委員会・会計)

- 1) 会員入会業務
- 2) 理事会・代議員会・学会総会の開催
- 3) 研修会情報の会員一斉メールの配信

- 4) 議事録等学会関連書類の電子化
- 5) 適切な予算執行の推進・会計申し合わせ事項の整備・予算案作成
- 6) 総務委員会の開催 3回(2021年7月5日、2022年1月17日、2022年2月8日)

13. その他(総務委員会)

理事長・副理事長を中心に、理事会にて以下の検討を行った。

- 1) 諸規定・書類書式・保管の整備
 - (1) 定款施行細則の検討

- 2) 学会の運営を行うための将来構想の具体化に向けた検討
 - (1) 30周年記念事業の実施

- 3) 学術集会の充実にに向けた取り組み
 - (1) 第32回および第33回学術集会開催の検討
 - (2) 第32回学術集会理事会企画の検討

- 4) 一般社団法人日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援センターへの協力
 - (1) 説明会への出席依頼: 社会貢献委員長への依頼

- 5) 調査等への対応
 - なし

- 6) 他団体の事業への名義後援
 - (1) 日本学術会議 脳とこころ分科会 シンポジウム
 - (2) 一般社団法人コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会からオープニングセレモニー
 - (3) 第18回日本うつ病学会 / 第21回認知療法・認知行動療法学会
 - (4) 2021年度第7回こころのバリアフリー研究会総会 第7回こころのバリアフリー賞
 - (5) 第37回日本ストレス学会学術総会
 - (6) 第13回全国精神保健福祉家族大会(2021 みんなねっと東京大会)
 - (7) 第12回集団認知行動療法研究会学術総会
 - (8) 第21回日本外来臨床精神医学会学術大会
 - (9) 文化看護学会第14回学術集会

14. 学会員の動向(2022年3月31日現在)

現会員数 正会員 1,420名 名誉会員 7名 賛助会員 1社
2021年度新入会者 81名 2021年度退会者 67名

2022年度事業計画(案)

1. 2022 年度 理事会・代議員会の開催（総務委員会）

1) 理事会の開催 6 回、日時、場所は以下を予定している

〔第 1 回理事会〕

日時:2022 年 5 月 7 日(土)17 時 30 分～19 時 30 分

場所:WEB会議

〔第 2 回理事会〕

日時:2022 年 6 月 3 日(金)17 時～18 時

場所:WEB 会議

〔第 3 回理事会〕

日時:2022 年 9 月●日(●)●時～●時

場所:

〔第 4 回理事会〕

日時:2022 年 10 月●日(●)●時～●時

場所:

〔第 5 回理事会〕

日時:2022 年 1 月●日(●)●時～●時

場所:

〔第 6 回理事会〕

日時:2022 年 3 月●日(●)●時～●時

場所:

2) 代議員会の開催 1 回、日時、場所は以下を予定している

日時:2022 年 6 月 3 日(金)18 時 30 分～19 時 30 分

場所:WEB会議

3) 定時学会総会の開催 1 回、日時、場所は以下を予定している。

日時:2022 年 6 月 4 日(土)17 時 10 分～18 時 10 分

場所:WEB 開催

2. 学術集会

1) 第 32 回日本精神保健看護学会学術集会・総会の開催

テーマ:「精神保健における精神看護の責務 With コロナの中でのチャレンジ」

期 間: 2022 年 6 月 4 日(土)・5 日(日)

場 所:オンライン・オンデマンド開催 武蔵野大学 有明キャンパス、TOC 有明(東京都)

学術集会会長: 荻野 雅(武蔵野大学 看護学部看護学科 教授)

2) 第 33 回日本精神保健看護学会学術集会・総会の開催準備

テーマ:「精神保健看護がめざす多様性と包摂性(diversity and inclusion)」

期 間: 2023 年 5 月 13 日(土)・14 日(日)

場 所: 神戸国際会議場(兵庫県神戸市)

学術集会会長:船越 明子(神戸市看護大学看護学部)

3. 第6期役員候補者選出選挙の実施(選挙管理委員会)

(一社)日本精神保健看護学会 定款第5条および代議員・役員選出に関する規程に基づき、選挙管理委員会を立ち上げ、第6期役員候補者選出選挙を行う。

4. 学会誌の編集・発行(編集委員会)

1) 学会誌の編集、査読(第 31 巻1号, 2 号発刊)

2) 投稿・査読システムの整備

3) 編集委員会の開催

5. 研究助成活動(研究活動推進委員会)
 - 1) 第 13 回(2022 年度)研究助成の運営, 及び助成対象者への支援
 - 2) 第 14 回(2023 年度)研究助成
募集、審査、結果通知等の運営、実施
 - 3) これまでの助成対象研究のうち, 未投稿である研究の学会発表、論文投稿の推進
 - 4) 研究に関する表彰制度の検討・準備
 - 5) 研究助成活動委員会の開催
6. 教育の質向上事業(教育の質向上委員会)
 - 1) 「精神医療機関における新人看護職員及び中途採用看護職員への研修に関する実態調査」
の実施・報告書等の作成
 - 2) 教育に関連した研修会の実施 1 回
 - 3) 委員会の開催:年 4 回程度及び適宜メール会議
7. 実践の質向上事業(実践の質向上委員会)
 - 1) 年 3 回の研修会の企画、開催
 - 2) 実践の質を向上させていくための方略の検討
8. 学術連携に関する活動(学術連携委員会)
 - 1) 診療報酬要望書「精神科病院における(認定・専門看護師による)看護外来支援・指導料」の
再提出に向けての検討
 - 2) 診療報酬の評価に向けた日本糖尿病教育・看護学会等との連携の継続
 - 3) 看護系学会等社会保険連合への参加
 - 4) 精神保健従事者団体懇談会への参加
 - 5) 学術連携委員会の開催
 - 6) 政策提言に向けた他学会及び団体との今後の連携の検討(日本看護協会、日本精神科看護
協会、その他)
9. 広報活動(広報・情報委員会)
 - 1) ニュースレターや SNS の活用状況に関するインターネット調査
 - 2) ニュースレターなどによる広報活動の充実化
 - 3) 学会ホームページの運用
 - 4) SNS を活用した広報活動の継続(Facebook、Twitter のアカウント管理)
 - 5) 広報・情報委員会の開催
10. 社会貢献活動(社会貢献委員会)
 - 1) 精神保健看護学の社会還元
市民向け web セミナーの実施
 - 2) 医療事故調査への協力
 - 3) 精神保健看護学の知識によって社会貢献する活動の整理
11. 災害対策活動(災害対策委員会)
 - 1) 災害対策委員会の開催(WEB 会議を予定)
 - 2) 災害に備えてのネットワークづくりを目的としたブロック別の意見交換会の開催(6 回)
 - 3) ネットワークづくりに関する知見の共有化
12. 倫理・利益相反に関する事業(倫理・利益相反委員会)
 - 1) 利益相反指針の策定
利益相反指針について社員総会で承認を得て、利益相反指針細則を含めて実施し、会
員への周知を図る。
 - 2) 研究倫理審査委員会規定の策定
「倫理・利益相反委員会」に関する規定を検討する。

3) 学会における倫理的問題の検討、審査

会員に関する倫理的問題についての対応方法について検討する。

「神出病院における患者虐待事件」にかかる第三者委員会の報告書を踏まえて、意見書等の発出について検討する。

4) 利益相反に関する審査

利益相反に係る審査が必要であれば指針等に基づいて審査する。

5) 研究倫理審査

必要性について検討を重ねるとともに、編集委員会等とも連携して研究倫理に関する基本的事項について会員への周知を図る。

13. その他

その他本会の目的を果たすために必要な事業

- 1) 日本精神保健看護学会交流会(総務委員会) 月1回を予定

収支予算書

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

一般社団法人 日本精神保健看護学会

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	14,955,000	14,504,000	451,000
正会員	14,905,000	14,454,000	451,000
賛助会員	50,000	50,000	0
事業収益	7,790,001	13,840,000	△ 6,049,999
学会誌等の発行収益	0	0	0
学術集会の開催収益	7,550,001	12,760,000	△ 5,209,999
研修会等の開催収益	0	380,000	△ 380,000
その他事業収益	0	700,000	△ 700,000
雑収益	0	5,100	△ 5,100
受取利息	240,000	100	239,900
著作権料	0	5,000	△ 5,000
経常収益計	22,745,001	28,349,100	△ 5,604,099
(2) 経常費用			
事業費	13,342,077	20,542,532	△ 7,200,455
学術集会の開催費	6,620,000	12,840,000	△ 6,220,000
臨時雇賃金	66,000	160,000	△ 94,000
会場費	110,000	0	110,000
会議費	92,000	1,427,100	△ 1,335,100
旅費交通費	737,000	2,033,800	△ 1,296,800
通信運搬費	439,277	105,000	334,277
消耗品費	70,000	110,000	△ 40,000
印刷製本費	80,000	135,000	△ 55,000
諸謝金	550,000	290,000	260,000
委託費	3,716,800	2,800,632	916,168
研究助成金	600,000	300,000	300,000
諸会費	200,000	200,000	0
雑費	61,000	141,000	△ 80,000
管理費	6,094,900	9,201,384	△ 3,106,484
臨時雇賃金	110,000	110,000	0
会議費	478,500	1,136,300	△ 657,800
旅費交通費	497,500	1,827,700	△ 1,330,200
通信運搬費	180,000	361,234	△ 181,234
消耗品費	463,000	283,000	180,000
印刷製本費	205,000	237,200	△ 32,200
租税公課	70,000	70,000	0
委託費	3,810,900	4,995,950	△ 1,185,050
諸会費	80,000	80,000	0
雑費	100,000	100,000	0
経常費用計	19,436,977	29,743,916	△ 10,306,939
評価損益等調整前当期経常増減額	3,308,024	△ 1,394,816	4,702,840
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,308,024	△ 1,394,816	4,702,840
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	3,308,024	△ 1,394,816	4,702,840
法人税、住民税及び事業税	170,000	170,000	0
当期一般正味財産増減額	3,138,024	△ 1,564,816	4,702,840
一般正味財産期首残高	45,770,024	21,568,475	24,201,549
一般正味財産期末残高	48,908,048	20,003,659	28,904,389
II 正味財産期末残高	48,908,048	20,003,659	28,904,389

日本精神保健看護学会第33回及び第34回学術集会会長の選出

第33回 学術集会

学術集会会長 船越 明子 会員

(神戸市看護大学看護学部 教授、第4期理事)

会期 現地 2023年5月13日(土)～14日(日)

オンデマンド配信 会期後1か月程度を予定

会場 神戸国際会議場(兵庫県神戸市中央区港島中町6-9-1)

参加予定数 約1,000名(オンライン参加含む)

テーマ 精神保健看護がめざす多様性と包摂性の実現に向けて

テーマ趣旨

世界的な COVID-19 拡大は、世代による分断や社会的孤立、経済格差などの我が国が抱える課題の顕在化をもたらした。こうした課題は、人々の心の健康に大きな影響を与えた。どのような状況に置かれても、自分らしく生きがいをもって生活できる社会をめざすのが地域共生社会である。

精神保健看護は、精神障害者や精神的不調を抱える人を含め、全ての人のあらゆるライフステージを対象に広がりを見せている。例えば、複合的課題を持つ世帯への支援や精神障害者の権利擁護は古くて新しい課題である。多様な背景をもち、多様な環境にある人々を包摂する社会の実現に向けて、精神保健看護の方法もまた広がりながら発展しつつある。私たちは、心身のケアの統合や ICT を活用したテレナーシング等絶え間ない模索を続けている。

あらゆる人の心の健康の保持と増進、および、精神障害者の社会参加の第一線を担ってきた精神保健看護が、多様性と包摂性のある社会の実現に向けて貢献しようとする時、これまでの枠にとらわれずその対象と方法を大きく広げることが求められている。

精神保健看護がめざす多様性と包摂性の実現にむけて、ともに考える機会にしたい。

第34回 学術集会

学術集会会長 岡田 佳詠 会員

(国際医療福祉大学 成田看護学部 教授、学科長、第5期理事)

会期 検討中

会場 検討中

決算報告書

自 2021年4月1日
至 2022年3月31日

一般社団法人 日本精神保健看護学会

貸借対照表

2022年 3月31日現在

一般社団法人 日本精神保健看護学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	46,495,022	37,986,502	8,508,520
前払金	0	0	0
未収入金	0	230,000	△ 230,000
流動資産合計	46,495,022	38,216,502	8,278,520
資産合計	46,495,022	38,216,502	8,278,520
II 負債の部			
未払金	384,176	3,056,165	△ 2,671,989
前受金	264,000	484,000	△ 220,000
預り金	6,822	8,372	△ 1,550
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	724,998	3,618,537	△ 2,893,539
負債合計	724,998	3,618,537	△ 2,893,539
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	45,770,024	34,597,965	11,172,059
正味財産合計	45,770,024	34,597,965	11,172,059
負債及び正味財産合計	46,495,022	38,216,502	8,278,520

正味財産増減計算書

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

一般社団法人 日本精神保健看護学会

(単位:円)

科 目	2021年度決算額	2020年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	15,726,000	15,656,000	70,000
正会員	15,676,000	15,606,000	70,000
賛助会員	50,000	50,000	0
事業収益	10,373,099	7,370,797	3,002,302
学会誌等の発行収益	4,370	8,740	△ 4,370
学術集会の開催収益	9,945,000	7,132,057	2,812,943
研修会等の開催収益	423,684	230,000	193,684
その他事業収益	45	0	45
雑収益	13,985	3,632	10,353
受取利息	125	112	13
著作権料	13,860	3,520	10,340
経常収益計	26,113,084	23,030,429	3,082,655
(2) 経常費用			
事業費	10,463,149	9,406,347	1,056,802
学術集会の開催費	6,769,573	5,464,069	1,305,504
臨時雇賃金	28,800	36,000	△ 7,200
会場費	0	0	0
会議費	20,000	0	20,000
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	2,870	161,160	△ 158,290
消耗品費	5,390	29,018	△ 23,628
印刷製本費	0	5,500	△ 5,500
諸謝金	66,822	139,213	△ 72,391
委託費	2,854,613	3,069,682	△ 215,069
研究助成金	500,000	300,000	200,000
諸会費	200,000	200,000	0
雑費	15,081	1,705	13,376
管理費	4,407,876	5,598,059	△ 1,190,183
臨時雇賃金	0	0	0
会議費	38,445	0	38,445
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	252,016	394,932	△ 142,916
消耗品費	420	0	420
印刷製本費	9,229	4,719	4,510
租税公課	0	93,550	△ 93,550
委託費	4,025,806	4,990,664	△ 964,858
諸会費	80,000	80,000	0
雑費	1,960	34,194	△ 32,234
経常費用計	14,871,025	15,004,406	△ 133,381
評価損益等調整前当期経常増減額	11,242,059	8,026,023	3,216,036
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	11,242,059	8,026,023	3,216,036
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	11,242,059	8,026,023	3,216,036
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	11,172,059	7,956,023	3,216,036
一般正味財産期首残高	34,597,965	26,641,942	7,956,023
一般正味財産期末残高	45,770,024	34,597,965	11,172,059
II 正味財産期末残高	45,770,024	34,597,965	11,172,059

予算対比正味財産増減計算書

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

一般社団法人 日本精神保健看護学会

(単位:円)

科 目	2021年度決算額	2021年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	15,726,000	14,504,000	1,222,000
正会員	15,676,000	14,454,000	1,222,000
賛助会員	50,000	50,000	0
事業収益	10,373,099	6,620,000	3,753,099
学会誌等の発行収益	4,370	0	4,370
学術集会の開催収益	9,945,000	6,360,000	3,585,000
研修会等の開催収益	423,684	260,000	163,684
その他事業収益	45	0	45
雑収益	13,985	5,100	8,885
受取利息	125	100	25
著作権料	13,860	5,000	8,860
経常収益計	26,113,084	21,129,100	4,983,984
(2) 経常費用			
事業費	10,463,149	12,582,832	△ 2,119,683
学術集会の開催費	6,769,573	6,360,000	409,573
臨時雇賃金	28,800	160,000	△ 131,200
会場費	0	100,000	△ 100,000
会議費	20,000	224,400	△ 204,400
旅費交通費	0	1,177,000	△ 1,177,000
通信運搬費	2,870	96,000	△ 93,130
消耗品費	5,390	95,000	△ 89,610
印刷製本費	0	150,000	△ 150,000
諸謝金	66,822	320,000	△ 253,178
委託費	2,854,613	3,179,432	△ 324,819
研究助成金	500,000	500,000	0
諸会費	200,000	200,000	0
雑費	15,081	21,000	△ 5,919
管理費	4,407,876	6,509,500	△ 2,101,624
臨時雇賃金	0	110,000	△ 110,000
会議費	38,445	820,000	△ 781,555
旅費交通費	0	977,500	△ 977,500
通信運搬費	252,016	183,100	68,916
消耗品費	420	203,000	△ 202,580
印刷製本費	9,229	235,000	△ 225,771
租税公課	0	70,000	△ 70,000
委託費	4,025,806	3,730,900	294,906
諸会費	80,000	80,000	0
雑費	1,960	100,000	△ 98,040
経常費用計	14,871,025	19,092,332	△ 4,221,307
評価損益等調整前当期経常増減額	11,242,059	2,036,768	9,205,291
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	11,242,059	2,036,768	9,205,291
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	11,242,059	2,036,768	9,205,291
法人税、住民税及び事業税	70,000	170,000	△ 100,000
当期一般正味財産増減額	11,172,059	1,866,768	9,305,291
一般正味財産期首残高	34,597,965	34,597,965	0
一般正味財産期末残高	45,770,024	36,464,733	9,305,291
II 正味財産期末残高	45,770,024	36,464,733	9,305,291

財産目録

2022年 3月31日現在

一般社団法人 日本精神保健看護学会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物置等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金	普通預金		21,047,037
		ゆうちょ総合口座		21,047,037
	未収入金	郵便振替口座		25,447,985
		法人口座		25,447,985
流動資産合計				46,495,022
資産合計				46,495,022
(流動負債)	未払金	毎日学術フォーラム	業務委託費等	384,176
		その他		384,176
	前受金		翌事業年度以降会費	264,000
			源泉所得税	264,000
	預り金		法人都民税均等割	6,822
未払法人税等	東京都主税局		70,000	
流動負債合計				724,998
負債合計				724,998
正味財産合計				45,770,024

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理は税込方式を採用している。

附属明細書

該当事項なし

予算対比正味財産増減計算書

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

一般社団法人 日本精神保健看護学会

(単位:円)

科目	2021年度決算額	2021年度予算額	備考
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	15,726,000	14,504,000	
正会員	15,676,000	14,454,000	当年度1,4531,000円、過年度991,000円(納入率93.0%)
賛助会員	50,000	50,000	当年度50,000円(納入率100%)
事業収益	10,373,099	6,620,000	
学会誌等の発行収益	4,370	0	抄録集販売1件
学術集会の開催収益	9,945,000	6,360,000	第31回学術集会(WEB開催@山形)
研修会等の開催収益	423,684	260,000	
その他事業収益	45	0	
雑収益	13,985	5,100	
受取利息	125	100	預金利息
著作権料	13,860	5,000	著作権料(医学中央雑誌刊行会)
経常収益計	26,113,084	21,129,100	
(2) 経常費用			
事業費	10,463,149	12,582,832	
学術集会の開催費	6,769,573	6,360,000	第31回学術集会(WEB開催@山形)
臨時雇賃金	28,800	160,000	実践の質向上
会場費	0	100,000	
会議費	20,000	224,400	実践の質向上
旅費交通費	0	1,177,000	
通信運搬費	2,870	96,000	研究活動推進・災害
消耗品費	5,390	95,000	研究活動推進
印刷製本費	0	150,000	
諸謝金	66,822	320,000	実践の質向上
委託費	2,854,613	3,179,432	編集事業委託費2,525,872円、広報240,741円、研究活動推進88,000円
研究助成金	500,000	500,000	研究活動推進
諸会費	200,000	200,000	看保連150,000円、精従懇50,000円
雑費	15,081	21,000	支払手数料
管理費	4,407,876	6,509,500	
臨時雇賃金	0	110,000	
会議費	38,445	820,000	Zoom回線使用料、選挙管理委員会会議室代、Zoom年間契約料
旅費交通費	0	977,500	
通信運搬費	252,016	183,100	事務局郵便料金、Zoom年間契約費用
消耗品費	420	203,000	印鑑購入費
印刷製本費	9,229	235,000	事務局コピー代
租税公課	0	70,000	
委託費	4,025,806	3,730,900	毎日学術フォーラム:199,463円 毎日学術フォーラム(選挙関連):709,500円 編集:2,357,572円 広報:240,741円 研究助成:176,000円 弁護士・司法書士:342,530円
諸会費	80,000	80,000	JANA80,000円
雑費	1,960	100,000	振込手数料
経常費用計	14,871,025	19,092,332	
評価損益等調整前当期経常増減額	11,242,059	2,036,768	
評価損益等計	0	0	
当期経常増減額	11,242,059	2,036,768	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	11,242,059	2,036,768	
法人税、住民税及び事業税	70,000	170,000	法人都民税均等割
当期一般正味財産増減額	11,172,059	1,866,768	
一般正味財産期首残高	34,597,965	34,597,965	
一般正味財産期末残高	45,770,024	36,464,733	
II 正味財産期末残高	45,770,024	36,464,733	

監 査 報 告

2022年4月25日

一般社団法人日本精神保健看護学会
理事長 安保 寛明 殿

一般社団法人日本精神保健看護学会

監事 寿喜田恵子 印

監事 荻野雅 印

私たち監事は、2021年4月1日から2022年3月31日までの第7期事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を閲覧し、主要な事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。